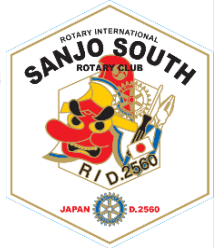




三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club



2021-22 クラブテーマ **継続こそ前進。**

2021. 12. 13

「外部卓話」

No.2400 No.16



会長挨拶

三条南ロータリークラブ
会長

平松 修之

こんにちは。今日は日本歯科大学新潟病院在宅ケア新潟クリニック診療科の高田正典様にお越しいただきました。後ほど卓話の方をよろしくお願い致します。

今日は先日新聞にも載っていましたが、ホノルルマラソンの話をちょっとだけしようと思います。

1973年から始まった人気のホノルルマラソンは、今月の12日に2年ぶりに開催されることになりました。登録者数が約1万4,500人と、例年の半数以下にとどまることになったと発表されていました。

コロナウイルスの影響で通常は半数近くを占める日本人が約450人まで落ち込んだこともあって、観光業への影響も大きいとされています。

また、新たな変異株「オミクロン株」の影響も懸念され、当日の参加者はさらに減るとみられています。今年は人数制限なしでの開催が10月に決まり、11月にオンライン登録が締め切られましたが、協会の話によると、登録者数にうち8,000~9,000人は昨年からの繰り越し分で、実際の参加者数は5,000~7,000人まで減るのではないかと心配されていました。実際、昨日の事なので、最終的にはどうなったかはまだ調べていませんが、後でチェックしておきます。大会自体は時間制限のない、希望者であれば7歳以上であれば誰でも参加できる海岸沿いのコースを走る人気の大会です。参加者数は2013年以降、3万3,000人台で推移し、半数近くを日本人が占める人気のマラソンです。宿泊や飲食などの経済効果は年約1億4,000万ドル(約158億円)にのぼり、そのうちの7~8割は日本からもたらされると言われています。日本人の参加者は平均4~5泊し、一人あたり1日約250ドルを消費するらしいです。マラソン協会のジム・バラハル会長は「影響は壊滅的に大きいですが、2年連続で中止にはできない。」

コロナ禍でも健康的なイベントを安全に実施できるというメッセージを発信することが重要だと考えている」と言っています。

走ることが好きな人であれば、一度は参加してみたい有名なホノルルマラソンですが、国内でのマラソン大会も殆どが中止になっているのが現状です。1日も早く普通に開催できる日が来ることを願っています。その日の為にも、できる限り足腰鍛えて走り続けようと思います。

以上、今日はこれで挨拶にしたいと思います。

◆本日の出席：44名中26名

◆通算出席率：79.17%

◆先週のメイクアップ：

◇12/8(水) 特別支援生徒ウインターフェスティバル
(於：本成寺中学校) 石山昌宏君

◆ゲストスピーカー：日本歯科大学新潟病院在宅ケア 新潟クリニック診療科長高田正典様

◆幹事報告 木村 讓 幹事

◇三条市立本成寺中学校より、
ウインターフェスティバルの御礼の手紙



◇三条市教育委員会子育て支援課より、
燕三条駅設置白ポスト撤去のお知らせと御礼

昭和63年にRCが寄付した白ポストが33年を経て老朽化し入替のために撤去することが決定。長らくご協力ありがとうございました。

😊 ニコニコボックス

12/13 7,000円 今年度累計 175,000円

平松会長「今日は日本歯科大学新潟病院在宅ケア新潟クリニックの高田正典先生にお越しいただきました。よろしくお申し上げます」

木村幹事「本日は高田先生宜しくお願いします」

渡辺和君「日本歯科大学高田先生、本日の卓話宜しくお願い致します」

銅冶君「本日の卓話高田正典様、ありがとうございます」

西瀧君「本月初雪が降ったようです。感染症に気をつけて皆様ご自愛ください」

坪井君「BOXに協力します」

石山君「BOXにご協力ありがとうございました」



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

国際ロータリー会長 シェカール メータ (インド) 事務局

第2560地区ガバナー 高尾 茂典 (新潟中央) 〒955-8666 三条市町2-5-10

第4分区分ガバナー補佐 外山 晴一 (三条北) 三条信用金庫本店内

会長

平松 修之

幹事

木村 讓

SAA

永井 篤利

TEL0256-35-3477

FAX0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL https://www.sanjo-minami.jp

「クリニック設立の意義や経緯、臨床例」

日本歯科大学在宅ケア新潟クリニック

科長 高田正典 様

日本歯科大学訪問歯科診療の歩み

- 1907年 日本で初の歯科医学校を設立
- 1972年 新潟歯学部を増設
- 1987年 在宅往診ケアチーム発足
- 2004年 新潟県中越地震 支援活動
- 2007年 新潟県中越沖地震 支援活動
新潟日報文化賞を受賞
- 2010年 学生教育において訪問歯科教育を必修化
- 2011年 東日本大震災 身元確認 支援活動
第63回保健文化賞を受賞
- 2014年 訪問歯科口腔ケア科を新設
- 2018年 在宅ケア新潟クリニックを開設



“潮流”第二波
在宅ケア新潟クリニック

“潮流”第一波
歯科訪問診療の始まり

1987年9月
活動開始



地域住民の要望に応えるため



1994年4月 健康保険診療報酬改定

- 付き添い看護
- 介護の撤廃
- 在宅医療の明確化
- 訪問看護の拡大

外来・入院・第三の医療として在宅医療

2000年4月 介護保険制度施行

要介護を社会保険の仕組みで
社会全体で支える制度

居宅療養管理指導：歯科に関する
3項目、口腔清掃、嚥下、食事摂取

在宅医療を専門に行う医療機関の開設

健康保険法に基づく開放性の観点から、外来応需体制を有していることが原則であることを明確化した上で以下の要件等を満たす場合には在宅医療を専門に実施する診療所の開設を認める。

[主な開設要件]

- 1 外来診療が必要な患者が訪れた場合に対応できるよう、診療地域内に2か所以上の協力医療機関を確保していること(地域医師会、地域歯科医師会から協力の同意を得られている場合はこの限りではない。)
- 2 在宅医療導入に係る相談に随時応じ、患者・家族等からの相談に応じる設備・人員等が整っていること。
- 3 往診や訪問診療を求められた場合、医学的に正当な理由等なく断ることがないこと。
- 4 緊急時を含め、随時連絡に応じる体制を整えていること。

当クリニック開設の目的

教育

* 学生、臨床研修歯科医師等が、地域包括ケアシステムの中で地域連携について学ぶ研修の場

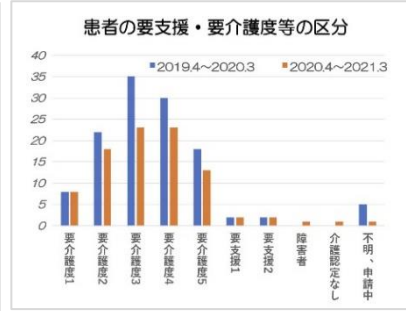
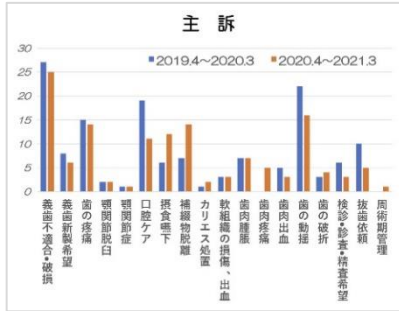
診療補填と後方支援

* 訪問歯科診療の供給不足が問題となる地域への訪問歯科対応重症例の受け入れ、二次医療機関へ繋ぐ緩衝

顔の見える関係の構築

* 大学機関として地域の症例検討会や各種研修会などの企画開催
地域における診診連携、多職種連携の推進

当クリニックの診療のながれ



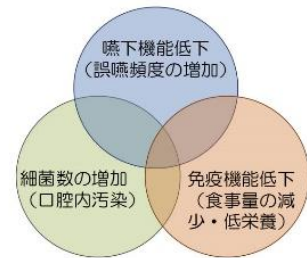
誤嚥性肺炎の敵 プラークリテンションファクター

- 歯石
- 歯列不正
- 歯肉歯槽粘膜部の異常
- 不適合修復・補綴物
- 歯の形態異常
- 食片圧入
- □呼吸
- □口腔前庭の異常
- 歯頸部う蝕
- 歯周ポケット



...etc.

誤嚥性肺炎の3大要素



- 1 口腔清掃がしやすい
- 2 口腔内細菌数を減らす
- 3 感染源の除去
- 4 トラブルを起こしにくい口腔
- 5 経口摂取のできる口腔

➡ 高齢者・有病者にどこまでやるのか？どこまでできるか？